

# 第 42 回総会・研修研究会プログラム

(主催：私立大学環境保全協議会、共催：日本工業大学)

## 日時

【第 1 日】 2026 年 3 月 12 日 (木)

総会	13:00~13:30
講演会	13:30~15:40
グループ討議	16:00~17:20
情報交換会	17:30~19:00

【第 2 日】 2026 年 3 月 13 日 (金)

グループ討議	9:30~11:10
講演会	11:30~12:30
キャンパス見学会	12:40~13:40

※今回より講演会は、対面開催および後日録画配信のみとなり、ライブ配信は行いませんのでご了承下さい。

## 会場

日本工業大学 埼玉キャンパス (〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1)

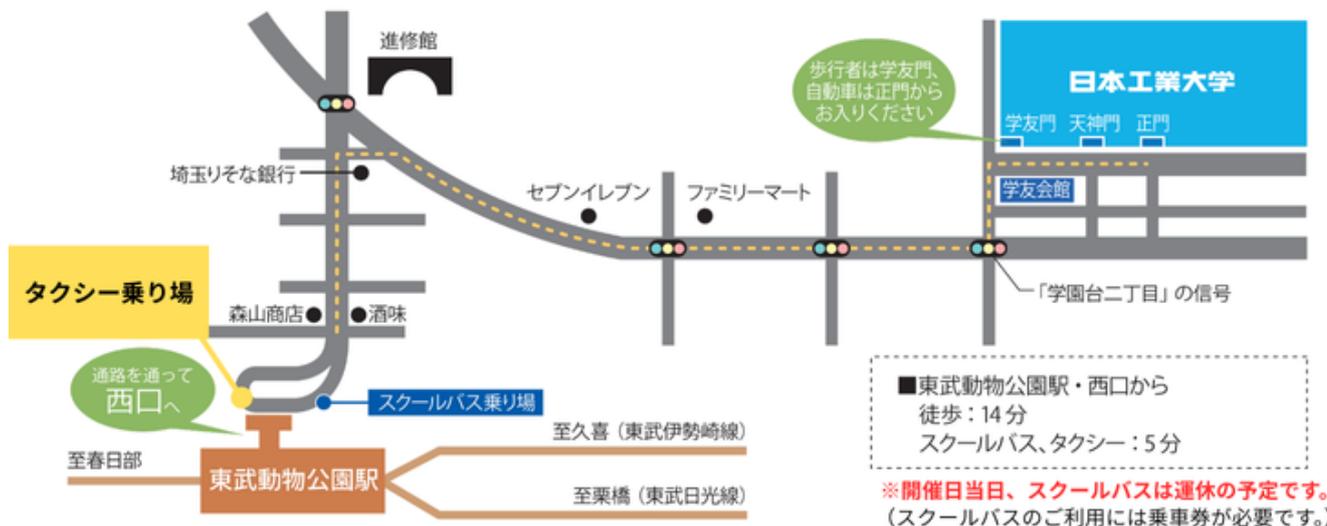
TEL : 0480-34-4111(代表番号)、0480-33-7486(NIT-EMS 本部)

《アクセス》東武スカイツリーライン (伊勢崎線)・日光線、東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通

「東武動物公園」駅西口より徒歩 14 分、またはタクシー乗車 5 分

※開催日当日、スクールバスは運休の予定です。徒歩での来校に支障がある場合は、申込時に事務局までご相談ください。

### ■東武動物公園駅からのご案内



日本工業大学 埼玉キャンパス  
交通アクセス



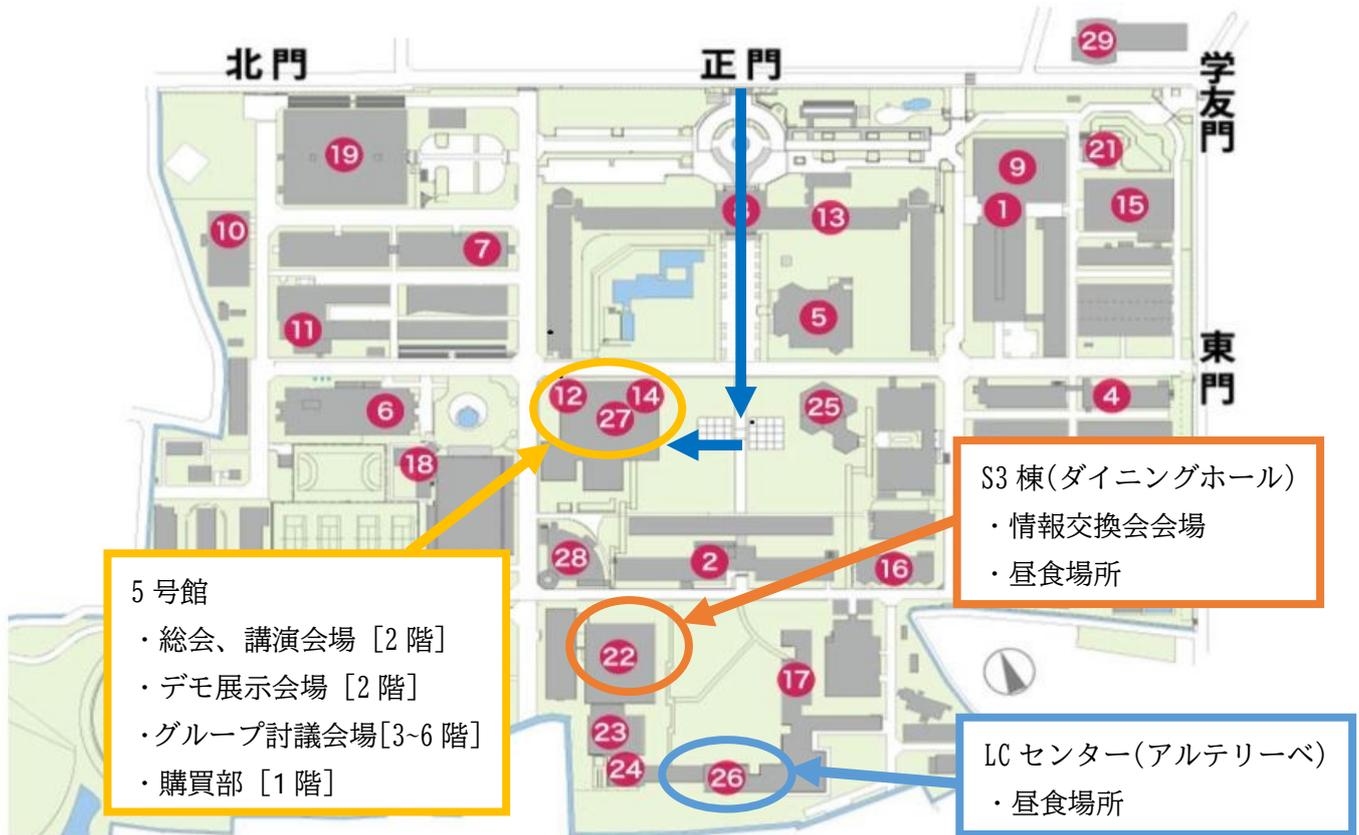
東武動物公園駅～大学正門  
徒歩ルート案内

## 主要会場

- ・総会・講演会場：5号館 203教室（300人収容）
- ・グループ討議会場：5号館 301・302・401・402・501・502・601・602教室（各100人収容）
- ・情報交換会会場：S3棟「ダイニングホール」

## 昼食利用可能

- ・S3棟「ダイニングホール」、LCセンター「アルテリーベ」
  - ・5号館1階 購買部（10時～14時）
- 近隣にコンビニエンスストア（ローソン）もあり（正門より徒歩3分）



## 参加費

研修研究会 区分別参加費（非課税）

区分	参加費（情報交換会参加費含む）
会員校 教職員	10,000 円
会員校 学生	無料
賛助会員	10,000 円
大環協会員	10,000 円
オブザーバー（上記以外の区分）	12,000 円

【参加費振込先】三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店

（普）3688955

シリツダイガクカンキョウホゼンキョウギカイ オシオ ヒロシ

3月12日(木)

≪総会≫ 13:00～13:30

会場：5号館 203教室

≪研修研究会≫

会場：5号館 203教室

1. 開会挨拶 13:30～13:40 私立大学環境保全協議会 会長 菅原 義之
2. 開催校挨拶 13:40～13:50 日本工業大学 学長 竹内 貞雄
3. 特別講演 13:50～14:40 (50分間)

「自然環境と社会情勢が激変する時代の食と農 —工学との融合による新たな農業—」

日本工業大学 基幹工学部電気情報工学科教授 平栗 健史

自然環境の変動や社会情勢の変化により、農業は不確実性、担い手不足、そして食糧需給の不安定化に直面しています。本講演では、植物の生育現象という農学的知見を基盤に、工業大学発のスマート農業センターとして工学的アプローチを統合し、完全自動化農業を目指す研究と課題への取り組みを紹介いたします。ドローン受粉や環境計測などの事例を通じ、工学との融合が食と農の持続性にどのような展望をもたらすのかを示します。

◇ 休憩(10分)・デモ展示見学 ◇

4. 研修講演 14:50～15:40 (50分間)

「日本工業大学の環境への取り組み—大学と学生と地域と—」

日本工業大学 共通教育学群教授 佐藤杉弥・学生環境推進委員会メンバー

日本工業大学では、Clean Green Eco Campus の標語の下で、荒地からのキャンパス整備からスタートし、2001年にはISO14001認証を受け17年継続の後に、NIT-EMSとして自己宣言して現在に至ります。EMS構築と相次いで学生の環境推進委員会も誕生、環境系の授業も整備し、地域との協働も数多く行ってきました。派手な活動はありませんが、この機会に環境への取り組みの全体像を、大学と学生の立場からご紹介いたします。

◇ デモ展示見学・移動(20分) ◇

5. グループ討議 16:00～17:20 (80分間)

会場：5号館 301・302・401・402・501・502・601・602教室

※Ⅰ～Ⅲグループから一つ選択してご参加ください。

Ⅰ：教育と連携「SDGs実現のための地域と大学との協働と連携 —日本工業大学の事例—」

SDGs実現とそのための環境保全や、学生による地域連携活動について日本工業大学 環境生命化学科教授 伴雅人先生にご紹介いただきます。ご講演のテーマは「SDGs for Engineers(SfE)の活動」です。SfEは学内の工房教育(カレッジマイスタープログラム)の1つで、学生が主体となる活動です。ご講演をもとに、大学・学生・地域の連携のあり方についてご参加の皆様と活発な議論

をしたいと考えています。

## Ⅱ：化学物質「昨今の化学物質規制体系に向けた対応について」

これまでのグループ討議と同様に、化学物質管理体制の見直しについて、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行います。また、東京理科大学におけるキャンパス移転にかかる化学物質管理の取組み事例紹介も予定しています。

- Ⅱ-A：化学物質 法改正概要（基礎的内容）
- Ⅱ-B：化学物質 アセスメントの実務について
- Ⅱ-C：化学物質 管理体制
- Ⅱ-D：化学物質 ばく露軽減措置
- Ⅱ-E：化学物質 安全教育
- Ⅱ-F：化学物質 実験系廃棄物管理

### グループ内事例紹介

「(仮題) 東京理科大学における薬学部移転対応について」

東京理科大学 管財部 野田管財課 環境安全管理室  
西座 智佐子

## Ⅲ：施設・設備「議論はキャンパスをどう変えたか？各大学における施設計画・環境改善の具体例とその効果」

本グループ討議では、実務事例から最新技術、行政の動向まで、5名の皆様にご紹介いただきます。まず、今回の開催校である日本工業大学様の省エネルギー実践事例として、施設環境管理課の国松様より「日本工業大学の省エネ対策状況」を、続いてLCセンター（図書館）の中村様より「LCセンター（図書館）の省エネ大賞『省エネルギーセンター会長賞』受賞について」をご紹介いただきます。

次に、民間企業および行政の視点から、シー・エイチ・シー・システム（株）の渋谷様より「室内空気質と計測センサ技術の重要性」、文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課の外崎様より「学校等における省エネルギーの取組について」として、それぞれの知見をご講演いただきます。

最後に、大学の事例として、東海大学 学長室施設設備担当の住野様より「東海大学札幌キャンパスにおける ZEB Ready 取得への取り組みと既存改修における工事費低減策について」をご紹介いただきます。なお、それぞれのパートで質疑応答の時間を設けております。

◇ 移動(10分) ◇

6. 情報交換会

17:30～19:00

会場：S3 棟(ダイニングホール)

3月13日(金)

1. グループ討議 9:30～11:10 (100 分間) 前日より引き続き討議を行います  
会場：5号館 301・302・401・402・501・502・601・602 教室

◇ デモ展示見学・移動(20 分) ◇

2. 講演 11:30～12:20 (50 分間) 会場：5号館 203 教室

「埼玉県の環境政策について」

埼玉県環境部環境政策課 企画調整・環境影響評価担当 技師 豊田 りさ子

近年、地球温暖化などの気候変動や生物多様性の喪失、海洋プラスチックごみ問題など、地球規模で解決していかなければならない環境課題が顕在化しております。

毎年のように発生する大規模な自然災害や異常気象は、我々の生活にも大きな影響を及ぼしており、気候変動への対策はまさに喫緊の課題であるといえます。また、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会は、最終処分場のひっ迫や不法投棄の要因となっているほか、天然資源の枯渇や海洋プラスチックごみ問題など地球環境に大きな影響を及ぼしています。さらに、生物多様性は我々の生活に大きな恵みをもたらしていますが、その損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現も大きな課題となっています。

このような地球規模の環境課題を含めた、埼玉県の環境を取り巻く状況や、その解決に向けた施策について、具体的な取組を交えながら御紹介いたします。

3. 閉会挨拶 12:20～12:30 私立大学環境保全協議会 副会長 末永 聖武
4. キャンパス見学会 12:40～13:40

以 上